

日立サッカー協会ニュース



第 40 号

発行人 日立市サッカー協会

住 所 日立市諏訪町 1-18-3

(伊藤スポーツ内)

発行責任者 伊藤 和彦

編集責任者 鈴木 正二

川又 彰子

～宮田乃武衛氏と少年サッカー～

日立市サッカー協会 参与 皆川 直司



茨城師範学校（現茨城大学教育学部）を卒業し教師として日立市宮田小学校に赴任したのが戦後の混乱期である昭和 23 年だった。スポーツに飢えていた子どもたちに、宮田先生が伝えた競技は、ボール一つでみんなで楽しめ、遊び合いながら闘争心を駆り立てる蹴球（サッカー）であった。普段着で、裸足やズック靴で、嬉々としてボールを追う子どもたちが、宮田小の校庭に見られるようになった。同じような光景が会瀬小学校にも見られた。茨城師範蹴球部で宮田先生と同期の神永啓先生や先輩の佐藤惣一先生、関明（丸山）先生が子どもたちに蹴球を教えた。会瀬小と宮田小の交流試合が昭和 24 年 11 月に会瀬小学校の校庭で開かれた。当時試合に参加した 6 年生の一人（現在 76 歳）の記憶によると、ゴールはあり合わせの竹や木材で作られ、服装は普段着のズボン、シャツ、ズック靴をはいていた。ボールはゴムボールであった。当時の会瀬小のメンバーには、宮田先生の実弟宮田二三男氏や柴田薫氏がいた。審判兼引率の先生は宮田小は宮田先生、会瀬小は神永先生であった。試合結果は宮田小の勝利だったが、この試合は日立における小学生のサッカー試合の先駆けであり、歴史的な試合と言っても過言ではない。

その後、宮田小の子は駒王中学校へ、会瀬小学校の子は助川中学校へと進学した。助川小学校には茨城師範の後輩の大越典一先生が赴任し、サッカーを教え助川中学へと子を送った。この子たちと若い先生方により、昭和 26 年日立市内で最初のサッカー部が助川中学校に誕生した。対外試合は水戸で行った県大会であり、良い成績を残した。その刺激を受けて、駒王中、平沢中にもサッカー部が誕生していった。高校に進学した生徒たちにとって高校にサッカー部はなかったが、昭和 29 年日立工業高校で中条卓氏（会瀬小、助川中出身）を主将として、日立市内初の高校蹴球部が創部された。

宮田先生は昭和 33 年に平沢中学へ転勤し（社会、保健体育担当）サッカー部の監督として活躍、市内中学校対抗戦の実現にも尽力された。この間、中学校体育連盟が組織され、サッカー部部長として、又、県中体連サッカー部副部長としてサッカーの発展に大いに寄与した。

サッカー熱は小学校から中学校へと移行し、市の拡大とともに多賀中学校・泉丘中学校・久慈中学校とサッカー部が誕生し、多くのプレイヤーが育っていった。宮田先生は昭和 44 年以後、日立市教育委員会指導主事として保健体育教育の充実と発展に邁進すると共に、サッカーへの情熱を失うことは無かった。茨城師範・茨城大教育学部サッカー部卒業生の「葵クラブ」の一員として国民体育会教員の部、関東大会、又茨城県社会人リーグに出場活躍し、そして茨城 40 雀の立ちあげ等、仕事とサッカーに勤しんだ。昭和 39 年の東京オリンピック開催を契機に小学校にもサッカー熱が高まり、昭和 42 年に日立市初のスポーツ少年団としてサッカー少年団が組織された。団長には茨城師範の先輩、椎木徳寿氏が就任。発足にあたった宮田先生や大越先生、そして日立市職員であった桧山稔氏など、多くのサッカー関係者の努力があり、今日の隆盛の礎になっている。

昭和 51 年に発足した日立市サッカー協会では副会長として、その後、二代目会長として重責を担うとともに、昭和 60 年から日立市スポーツ少年団副本部長としても活躍した。その功績により平成元年に日本少年団本部から表彰されている。また、日立 F C 60 設立にも尽力され生涯スポーツへの道を開いた。終始一貫、サッカー一筋の生き方であった。ハンカチか手拭を手に握りしめ、常に攻撃的な姿勢でプレーする姿が印象的でした。催しの際、宮田先生は必ずサッカー関係者の動向や、中学校、少年団の情報を尋ねられていたことが思い出に残っている。思えば宮田先生の師範学校合格を聞き記憶していた隣家の小学校一年生が、サッカーを通して同じような道を歩み、ここに追悼の一文を記すとは感無量である。

宮田乃武衛先生ありがとうございました。

「今回は、日立市サッカー協会二代目会長 故「宮田乃武衛」様の足跡を記録に残すことになりました。
ご子息「宮田浩昭」様からのご協力を戴き、協会参与の皆川直司様に執筆をお願い致しました。」

※就任あいさつ※

 日立市サッカー協会審判部
部長 小林 岳

今年度より審判部を担当する事になりました小林 岳です。大月国広さんから日立市協会審判部部長を引き継ぎ、また、日立市4種の審判委員長も前任の粕谷 忠さんから任されることになりました。

お二人共、長期間協会の審判活動や指導に当たって来られ、私も審判になりたての時から現在に至るまで大変お世話になりました。後任となりまして身の引き締まる思いであります。現在、日本サッカー界全体のレベルが上がり、大変盛り上がっています。御存知の通り、我が日立市でも各種別よりそれぞれ関東/全国大会に出場するチームを輩出している状況です。一方、競技レベルの向上に伴い、審判員の技術・知識に関しても高いレベルを求められています。負担も増している所ではありますが、注目も集まり、選手や指導者では無くレフェリーになりたい・やりたいという方も増えてきました。

とても嬉しく、有難い限りです。

まだまだ未熟者ではございますが、皆様に御指導・御協力頂き、楽しく審判活動が出来る環境を提供して行きたいと思っております。

※就任あいさつ※

 日立市中体連サッカー部委員長
委員長 井上洋平(多賀中)

25年度より、3種の委員長を務めさせていただきました。各校の顧問・副顧問の多大なるサポートにより、例年通り円滑に事業をすすめることができ、改めて感謝申し上げます。

日頃から各チームとも切磋琢磨しながら、レベルアップを図っており、新入大会では、創部2年目の日立一高附属が市内大会を突破し、県北大会に進出するなど、実力は各校とも拮抗しております。

昨年12月には、新たな大会として、「第1回マルト杯」が開催されました。県北地区のほとんどの中学校が参加し、また、運営や会場、審判等でも多くの方々にご協力いただいたおかげで、盛大に執り行うことができました。

I F Aリーグでは、2014シーズンから大久保中と多賀中が県1部に昇格し、高いレベルで熱戦を繰り広げています。本年度は、残念ながら総体、新入大会で県上位に食い込むことができませんでした。来年度は、本市のチームから関東・全国大会へ進出できるよう更なるレベルアップを図っていききたいと思います。



国際大会に出場した日立市出身のサッカー関係者



年	大会	出場者	役目	実績
1964	東京オリンピック	鎌田光夫 宮本征勝	選手 選手	3-2 でアルゼンチンに勝利し、ベスト8入り
1968	メキシコオリンピック	鎌田光夫 宮本征勝	選手 選手	2-0 でメキシコに勝ち3位入賞 銅メダル フェアプレー賞
1984	ロサンゼルスオリンピック	佐野敏一	審判員	ユーゴ対イラク戦の主審担当
2002	日本・韓国ワールドカップ	鈴木隆行	選手	国民の期待に応えベスト16入り
2014	ブラジルワールドカップ	池田 浩	ドクター	アジア最終予選に帯同して予選突破

- ◇鎌田光夫 日立一高、中央大学で主将を務め、1960年古河電工に入る。1985年日本代表デビュー以来12年間代表チームで活躍。東京・メキシコオリンピック全試合出場。メキシコではスーパーとしてバックスを統率し銅メダルに貢献。1976年古河電工監督に就任。JSL、天皇杯の二冠達成。2007年日本サッカー殿堂入り。A代表43試合、2得点。
- ◇宮本征勝 日立一高、早稲田大学を経て1961年古河電工に入る。1957年高校選手権の日立一高準優勝に主将として貢献。1958年日本代表入り以来12年間代表チームのバックスとして活躍。東京・メキシコオリンピック代表。メキシコでは4試合出場。本田技研、鹿島アントラーズ、清水エスパルスの監督を歴任。2005年日本サッカー殿堂入り。A代表43試合、1得点。2002年没。
- ◇佐野敏一 1967年日立市サッカー少年団の発足に当たり、日立市市役所サッカー部員として協力。1974年の茨城国体に向け1級審判員を志し取得。JSLで85試合ほか天皇杯・高校選手権決勝の主審を担当。国際審判員としてロサンゼルスオリンピックに参加。1991年FIFA審判特別功労賞を受賞。2000年没。
- ◇鈴木隆行 1985年小学3年生から大沼少年団でサッカーを始める。泉丘中学、日立工業高を経て鹿島アントラーズに入団。複数のクラブにレンタル移籍後2000年に復帰、3冠にフォワードで貢献。日・韓ワールドカップ初戦のベルギー戦で、全身でのゴールへの執念で初ゴールを決め、予選リーグトップ通過に貢献。A代表55試合、11得点。現水戸ホーリーホック所属。
- ◇池田 浩 1971年小学4年の頃油縄子少年団でサッカーを始め多賀中学を経て日立一高でサッカーを続ける。骨折を経験し、選手を一日も早く復帰させたいとの思いで医師を目指す。順天堂大学医学部で学び、JFE千葉Nチームドクター、ザック日本のチームドクターとなる。現在、順天堂大学医学部整形外科先任准教授、日本サッカー協会医学委員会副委員長。

この50年にわたり、日立市から日本を代表する人材を生み出したことを誇りに思う。その背景には、トップレベルのサッカー育む人材と多数の協力者がおり、継承されたことを意味する。ソフト・ハード両面の環境を一層整えて発展することを願う。

サッカー日本代表チームドクター
池田 浩氏による特別講演会
『スポーツ医学セミナー』が開催されました！

平成 26 年 1 月 25 日（土）多賀市民会館ホール
において、日立市出身サッカー日本代表チームドクター
池田 浩氏による「スポーツ医学セミナー」が開催され、
約 400 名の聴講者でホールは盛況でした。



2014 年ブラジルW杯帯同
池田 浩氏

平成 25 年度（公財）日立市体育協会
スポーツ表彰受賞者

功労賞	鈴木 正二	日立市サッカー協会 4 種事務局長 水木河原子大みか少年団団長
奨励賞	春木屋義嗣	水木河原子大みかサッカー少年団
	清水 一則	坂本サッカースポーツ少年団
	上野 圭一	田尻サッカースポーツ少年団

第20回全国クラブチームサッカー選手権大会出場！

2013 年 11 月 2 日～5 日 於 岐阜県

1 回戦 日立グランデ・シャミネー 2-3 LIBERTA 岐阜
(延長)



日立グランデ・シャミネー

2013 年度試合結果

4 種（少年）

《第 40 回読売新聞杯争奪日立少年サッカー大会》

準決勝・決勝戦が 2 月 23 日折笠スポーツ広場・3 月 9 日大久保小学校グラウンドにおいて行なわれ、
学年毎にそれぞれのチームが優勝しました。大雪の為、日程・会場の変更による開催となりました。

◆2 年 1 年の部◆

優勝！諏訪サッカースポーツ少年団

準決勝 大久保 A 6-1 MKO
諏 訪 2-0 久慈東小沢
決 勝 諏 訪 0-0 大久保 A
(延長 1-0)

◆3 年の部◆

優勝！豊浦サッカースポーツ少年団

準決勝 十王 A 4-1 坂本
豊浦 A 2-0 田尻
決 勝 豊浦 A 0-0 十王 A
(PK 4-3)

◆4 年の部◆

優勝！大沼サッカースポーツ少年団

準決勝 大沼 1-0 田尻
ゆなご 2-0 豊浦
決 勝 大沼 0-0 ゆなご
(PK 5-4)

◆5 年の部◆

優勝！坂本サッカースポーツ少年団

準決勝 日高田尻 A 2-1 久慈東小沢
坂 本 5-1 MKO A
決 勝 坂 本 2-0 日高田尻 A

◆6 年の部◆

優勝！十王サッカークラブ

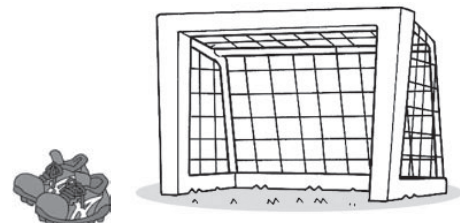
準決勝 塙山 4-0 豊浦
十王 2-0 大沼
決 勝 十王 1-0 塙山



2 種（高校）

《日立カップ 優勝！明秀日立》

準決勝 明秀日立 4-0 坂戸西
飯 能 3-1 宮城県工
決 勝 明秀日立 6-0 飯 能



1 種

《第 73 回日立市民サッカー大会》

◆一般の部◆

優勝！ MORE

準決勝 ラーゴビーチ 4-2 MABUHAY

MORE 1-0 日立 ICS

決勝 MORE 3-0 ラーゴビーチ

◆35 歳以上の部◆

優勝！トリックスター

準優勝 レノバレス 35 8-0 田尻 FC

トリックスター 2-0 タイガーバニー

決勝 トリックスター 3-2 レノバレス 35

◆中学生の部◆

優勝！坂本中学校

決勝 坂本 1-0 大久保



《平成 25 年度日立市民サッカーリーグ結果》

【1 部リーグ】

	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点
1	茨大工学部	7	2	0	23	29
2	ブルメリア	7	2	0	23	14
3	シルバーウルフ	7	1	1	22	20
4	FCレノン	4	0	4	12	-4
5	FC宴	4	0	5	12	-20
6	大魔王	3	0	6	9	-3
7	PELEZOSO	3	0	5	9	-5
8	IN-PULS	2	1	6	7	-11
9	太洋工業	2	0	7	6	-12
10	日立ICS	1	2	6	5	-8

【2 部リーグ】

	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点
1	scratch	8	0	0	24	34
2	FC水木	6	1	1	19	34
3	日立大みかOB	6	0	2	18	13
4	J'men	4	1	3	13	0
5	FCゆりかご	4	0	4	12	-11
6	Red Burn	2	2	4	8	-8
7	FCウェーブ	1	1	6	4	-18
8	日立物流	1	1	6	4	-26
9	タイガーバニー	1	0	7	3	-18

ノルテ日立ジュニアトレセン活動報告

- ◇ 日 時：5月10日（土）
- ◇ 場 所：成沢交流センター&茨城大学工学部グラウンド
- ◇ 目 的：日立市の少年団に所属する選手の育成
- ◇ 参加者：38名
- ◇ テーマ：1対1の強化（相手の逆を取る）
- ◇ スケジュール
 - 15:45 受付
 - 16:00 ミーティング
 - 17:00 トレーニング
 - 19:00 終了解散

映像を見る
選手達

ミーティングでは映像を用いてプレーのイメージを持ち、その後グラウンドへ移動し、トレーニングと試合を行いました。

1回目に比べると積極性と負けたくないという気持ちがプレーで少しずつ表現できるようになってきました。

「うまくなりたい」「負けたくない」という気持ちを引き出し、伸ばせるようにやっていきたいと思います。

◆25 年度賛助金の皆様◆

ご協力ありがとうございました！

- ・鎌田 洋
- ・熊谷 勇治
- ・鈴木 宏
- ・小池 仁
- ・村山 智
- ・泉水（蛭田 清実）
- ・湯田 健一
- ・日立高校サッカー部顧問会
- ・日立市民サッカーリーグ連盟
- ・田村 俊男
- ・檜山 稔
- ・若松 義弘
- ・小泉 敏治
- ・白田 隆史
- ・長岐 博
- ・塚元 康輔
- ・岡田 譲
- ・木本 土八
- ・河野 颯二
- ・関 次男
- ・鈴木正二
- ・福地 烈
- ・岡田 譲
- ・木本 土八
- ・河野 颯二
- ・関 次男
- ・長岐 博
- ・鈴木正二
- ・大越 典一
- ・勅使河原 誠
- ・秋山 竹彦
- ・今橋 富士夫
- ・根本 秋男
- ・勝谷 康夫
- ・笹原 正人
- ・皆川 直司
- ・森 茂
- ・青柳 勇
- ・石川 進
- ・伊藤和彦
- ・小林敏男
- ・永盛常雄

・（順不同・敬称略）

～編集後記～

40号の発刊が遅れましたこと
お詫び申し上げます。皆様へ早
くご報告と、広報部努力してお
ります。
皆様の26年度協会行事へご協
力よろしくお願い申し上げます。